

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（英語）						授業形態		講義・演習	
科目コード	750177	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	横堀 仁志								ICT活 用	
授業概要	本講義の目的は、小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識 や指導技術を身に付けることにある。そのためにまず主要な外国語教授法を学修し、子どもの言語習得に関する理解を深め、さらにそれらの教授法を小学校の英語活動・英語学習に効果的に適用する方法・技術について研究する。授業は、学習者の主体性や創意を重視し、適宜模擬授業を採り入れながら進めていく。									
関連する科目	本科目の履修前、もしくは同時期にスキル科目である「英語コミュニケーション」「英語A」「英語B」を受講することが望ましい。履修後は、専門教育科目である 「英語」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	この授業は児童の英語学習への意欲を高める指導を目指しており、学生自身の主体性・創意を生かすことを追求する。そのために、小学校での英語指導法の基礎知識とその基本技術の習得のために、学生自身の創意工夫やグループ内でのディスカッションを重視すると共に、マイクロ・ティーチングを実践する。また、インターネット上のミュージック・ビデオや動画を授業に活用する方法を紹介するとともに、電子教科書の活用方法についても検討する。									
授業計画 【第1回】	第1回：教科教育法(英語)の概要 学修指導要領・他教科や中学校英語との連携などについて学ぶ									
授業計画 【第2回】	第2回：第二言語習得理論 第二言語の習得に関する基礎理論や仮説について学ぶ									
授業計画 【第3回】	第3回：MT（マイクロ・ティーチング）① 全身反応教授法（TPR）及びナチュラル・アプローチのマイクロティーチングの準備をする									
授業計画 【第4回】	第4回：MT（マイクロ・ティーチング）② 全身反応教授法（TPR）及びナチュラル・アプローチのマイクロティーチングに挑戦する									
授業計画 【第5回】	第5回：英語の音声とフォニックス（教科書：第13章-1） 英語の発音（英語音声学）についてその基礎や発音指導の方法について学ぶ									
授業計画 【第6回】	第6回：MT（マイクロ・ティーチング）③ コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT）のMTに挑戦する：準備									
授業計画 【第7回】	第7回：MT（マイクロティーチング）④ コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT）のMTに挑戦する：実践：第1回目									
授業計画 【第8回】	第8回：MT（マイクロティーチング）⑤ コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング（CLT）のMTに挑戦する：実践：第2回目									
授業計画 【第9回】	第9回：英語の授業における歌の活用とその効用 英語の授業における歌の活用方法とその効用について学ぶ									
授業計画 【第10回】	第10回：英語の授業における映画の活用とその効用 英語の授業における映画の活用方法とその効用について学ぶ									

授業計画 【第11回】	第11回：教科書の効果的な使用方法について（教科書：第11章-1&2） 教科書をどのように授業で使用・活用するかなど、その効果的な使用方法について学ぶ
授業計画 【第12回】	第12回：ICT及び電子教科書の効果的な活用方法について ICT及び電子教科書をどのように授業で使用・活用するかなど、その効果的な使用方法について学ぶ
授業計画 【第13回】	第13回：ALTを活用したチーム・ティーチング について ALTを活用したチーム・ティーチング について、日本人教員とALTの役割や分担、授業の方法について学ぶ
授業計画 【第14回】	第14回：学習指導案の作成方法について 学習指導案の作成方法について複数のサンプルを例に取りながら学ぶ
授業計画 【第15回】	第15回：評価と評価方法について（教科書：第5章） 評価と評価方法についてその方法論について学ぶ
授業の到達目標	・小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識 や指導技術を身につけている。 ・主要な外国語教授法、子どもの言語習得、英語の音声とその指導方法に関する基礎知識を身につけている。 ・学習指導案に関する基礎的な知識を身につけている。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	・教科書の、次回の授業で扱う部分を読み、疑問点がある場合は自分なりに調べ学習を行う。 ・マイクロ・ティーチングの準備及び練習を行う。 （毎週、1時間程度の学習時間を想定）
授業時間外学習【復習】	授業で学習したことを振り返り、疑問点がないかどうかを確認する。 疑問点等がある場合は、次回の授業で担当教員に質問し、疑問を解決する。 （毎週、1時間程度の学習時間を想定）
課題に対する フィードバック	マイクロ・ティーチングのパフォーマンスに関して授業中にフィードバックする。
評価方法・基準	授業への参加度（20%） 期末試験（80%）
テキスト	「小学校英語科教育法―理論と実践―」【改訂版】金森強 編著 成美堂
参考書	「小学校学習指導要領」「小学校学習指導要領解説 外国語活動」
備考	